

## 再生可能エネルギーの実用化に向けたラウンドテーブル（2016年10月31日）開催

青森市は、弘前大学北日本新エネルギー研究所と共催により、平成28年10月31日（月）青森市内のアピオあおもりを会場に「再生可能エネルギーの実用化に向けたラウンドテーブル」を開催しました。

同研究所では、平成24年度から青森市の委託研究により、青森市における再生可能エネルギーを有効かつ効率的に活用するため、地域に賦存するエネルギーの実用化に向けた研究を進めています。

青森市では、平成27年度から、研究成果を具体化・事業化へ進めていくために、地域の産学官のメンバーで構成する「産・学・金・官ラウンドテーブル」を設置し、事業者の皆さまや一般市民の皆さまとともに検証する場を提供しています。

今回のラウンドテーブルでは、本研究所官 国清教授から「平成27年度バイオマス実用化検証委託研究の研究成果」について、神本正行学長特別補佐から「弘前大学の新たな取組」について発表がされました。そのほか、県エネルギー総合対策局から「青森県エネルギー産業振興戦略について」、青森市から「浅虫地区温泉熱発電可能性調査など」についてそれぞれ情報提供が行われました。引き続き、神本学長特別補佐を座長に、ラウンドテーブル構成員並びに参加した事業者の方々による活発な意見交換が行われました。

